

今、 新島 旧邸



2025

4.15^火 - 6.15^日 10時~17時
(入館は16時30分まで)

休館：月曜日、4月29日~5月6日

ハリス理化学館同志社ギャラリー
2階 企画展示室

(同志社大学今出川キャンパス)

主催：同志社大学同志社社史資料センター

入場
無料

今、新島旧邸

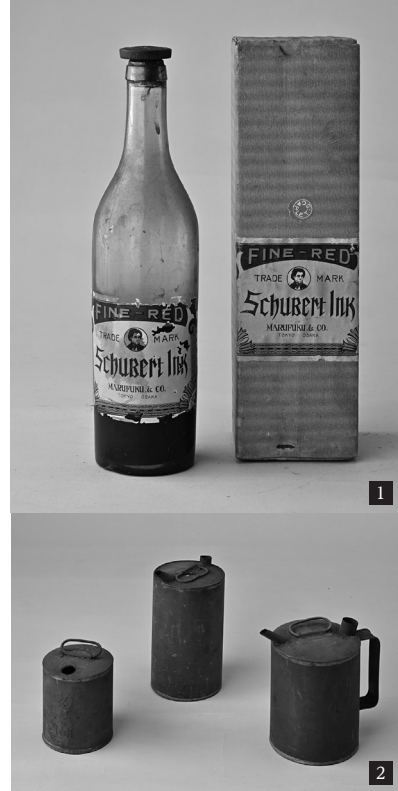
新島旧邸資料の 全貌公開！

2025年、同志社は創立150周年を迎えます。それを記念した企画展示の第一弾が、新島旧邸をテーマとした本展示です。

新島旧邸は、1878（明治11）年に建てられた、同志社の創立者新島襄とその妻八重が暮らした住居です。一般的には明治初期に建築された近代モダン建築として知られていますが、旧邸が立つ地は1875（明治8）年に同志社大学の起源となる同志社英学校が開校された土地でもあり、同志社にとっては普通の住居以上の意味を持つ建物として大切にされてきました。

しかし旧邸に遺る資料については、現在に至るまで、全体を網羅的にまとめて把握できるデータはありませんでした。そこで2022（令和4）年から2024（令和6）年までの2年間をかけて、旧邸において悉皆調査を行ない、旧邸母屋の全ての資料の存在、状態を確認しました。その結果、これまでに知られていた資料のほかに、新島夫妻の洋式・和式が混在する生活スタイルや、新島夫妻永眠後の建物、資料の管理状態を示す資料などが確認されました。

本展示では、悉皆調査により確認された資料の中から、普段の旧邸見学では見ることができない資料を紹介します。多くの方の目に触れ、資料の持つ歴史や新たな価値を感じていただければ幸いです。



1 インク瓶 2 油差し 3 ストープ 4 ランプの油つぼ 5 洗面器



ギャラリートーク 申込不要

1 4月26日 日

13時30分～14時30分

場所：ハリス理化学館
同志社ギャラリー2階
企画展示室
社史資料調査員による展示解説

2 5月17日 日

13時30分～14時30分

場所：新島旧邸
社史資料調査員による解説



第3回新島旧邸における八重茶会 事前申込

6月1日 日 10時・11時・12時・13時・14時開始の5回開催

場所：新島旧邸1階茶室
主催：学校法人同志社、同志社大学茶道部
右上の二次元バーコードからお申し込みください。

・応募者多数の場合は抽選により決定いたします。
結果については応募者全員にお知らせします。

募集人数 各回8人

締め切り 5月19日 日



新島旧邸の場所、公開日などについては、左の二次元バーコードからご確認ください。

ハリス理化学館同志社ギャラリー2階 企画展示室

(同志社大学今出川キャンパス)

京都市上京区今出川通烏丸東入 京都市営地下鉄今出川駅下車徒歩5分

ハリス理化学館同志社ギャラリー事務室

Tel. 075-251-2716

同志社ギャラリーホームページ <https://harris.doshisha.ac.jp/>

※合理的配慮が必要な方は、事前にご連絡ください。
ご予望内容を検討のうえ出来る限りの対応をさせていただきます。

お問い合わせ先

